

東京海上ストラテジック・トラスト

東京海上^{ローゲ}Rogge
グローバル・ハイブリッド・
セキュリティーズ・ファンド

米ドル建 米ドルヘッジクラス
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス

ケイマン諸島籍契約型オープンエンド型外国投資信託

交付運用報告書

作成対象期間 第12期
(2023年3月1日～2024年2月29日)

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト
(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて
電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により
交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで
お問い合わせください。

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、東京海上ストラテジック・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のサブ・ファンドである東京海上Roggeグローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第12期の決算を行いました。

ファンドの目的は、主として世界の金融機関が発行するハイブリッド証券等への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第12期末		
クラス名	1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.006829米ドル	95,342,308.04米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	0.005791豪ドル	14,078,440.60豪ドル
第12期		
クラス名	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	7.85%	0.000480米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	6.59%	0.000360豪ドル

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

(注3) 期末の純資産総額は端数処理方法の違いにより、運用報告書(全体版)に記載されている財務書類中の数値とは異なる場合があります。以下同じです。

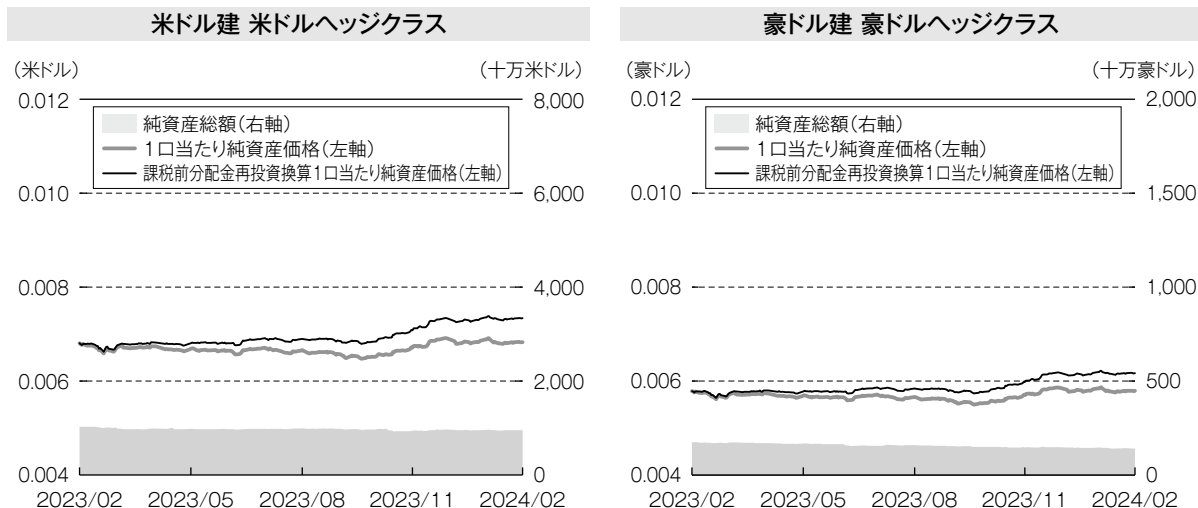
《運用経過》

【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第11期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

* ファンドにベンチマークは設定されていません。



	第11期末の 1口当たり純資産価格：	第12期末の 1口当たり純資産価格：	第12期中の 1口当たり分配金合計額：	騰落率：
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.006803米ドル	0.006829米ドル	0.000480米ドル	7.85%
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	0.005788豪ドル	0.005791豪ドル	0.000360豪ドル	6.59%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

[プラス要因]

- ・ハイブリッド証券の利息収入
- ・ハイブリッド証券のスプレッドの縮小

[マイナス要因]

- ・インフレ率の下げ渋りを受けた米国長期国債利回りの上昇(債券価格は下落)

【費用の明細】

項 目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび 豪ドル建 豪ドルヘッジクラスに係る ファンドの純資産総額の 年率0.15%	管理報酬、保管報酬および管理事務代行報酬は、信託証書に定める管理会社、保管会社および管理事務代行会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
受託報酬	米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび 豪ドル建 豪ドルヘッジクラスに係る ファンドの純資産総額の 年率0.01% (ファンド全体について最低年間 10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に定める受託会社としての受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
投資顧問報酬 (副投資顧問報酬を含みます。)	米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび 豪ドル建 豪ドルヘッジクラスに係る ファンドの純資産総額の 年率0.797%	投資顧問報酬は、ファンドのポートフォリオの投資運用、資産の投資および再投資の管理業務等の対価として、投資顧問会社に支払われます。 副投資顧問報酬は、投資顧問会社に提供する投資顧問業務の対価として、副投資顧問会社に支払われます。
販売報酬	米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび 豪ドル建 豪ドルヘッジクラスに係る ファンドの純資産総額の 年率0.593%	販売報酬は、口座内でのファンドの管理および事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等の対価として販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	米ドル建 米ドルヘッジクラスおよび 豪ドル建 豪ドルヘッジクラスに係る ファンドの純資産総額の 年率0.05%	代行協会員報酬は、ファンド証券1口当たりの純資産価格の公表を行い、またファンド証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を販売会社に交付する等の業務の対価として代行協会員に支払われます。
その他の費用(当期)	0.09%	専門家報酬、副保管報酬等

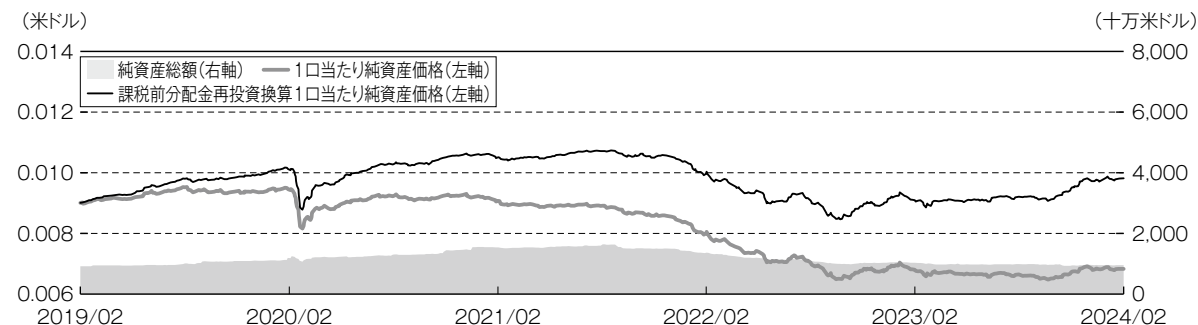
(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

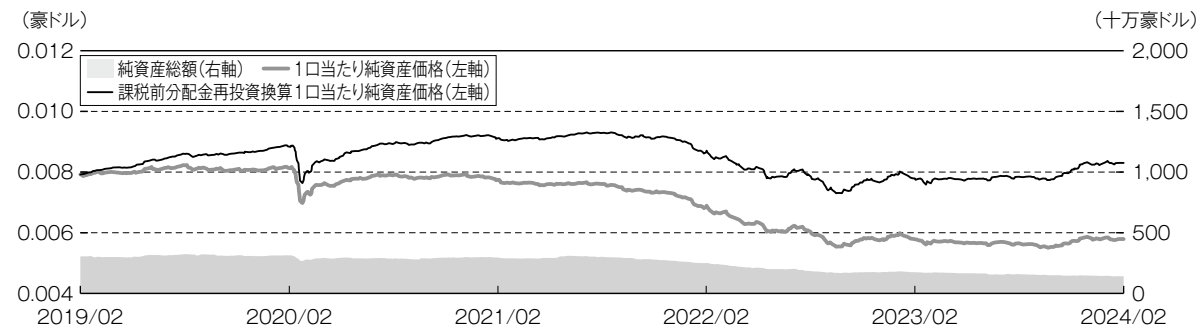
(注2) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドル建 米ドルヘッジクラス



	第7期末 (2019年2月末日)	第8期末 (2020年2月末日)	第9期末 (2021年2月末日)	第10期末 (2022年2月末日)	第11期末 (2023年2月末日)	第12期末 (2024年2月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.009007	0.009432	0.009052	0.007999	0.006803	0.006829
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	—	0.000630	0.000720	0.000644	0.000500	0.000480
騰落率 (%)	—	12.04	3.86	-4.90	-8.76	7.85
純資産総額 (米ドル)	91,788,317.14	118,285,726.45	153,438,292.84	135,614,110.57	102,983,760.21	95,342,308.04

豪ドル建 豪ドルヘッジクラス



	第7期末 (2019年2月末日)	第8期末 (2020年2月末日)	第9期末 (2021年2月末日)	第10期末 (2022年2月末日)	第11期末 (2023年2月末日)	第12期末 (2024年2月末日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.007918	0.008135	0.007726	0.006844	0.005788	0.005791
1口当たり分配金合計額 (豪ドル)	—	0.000672	0.000622	0.000534	0.000380	0.000360
騰落率 (%)	—	11.67	2.86	-4.87	-9.98	6.59
純資産総額 (豪ドル)	30,546,951.68	31,273,148.44	29,452,946.93	24,941,057.98	17,463,954.18	14,078,440.60

【投資環境について】

【2023年3月-2023年8月】

米国債利回りは、利上げ終了時期をめぐる不透明感などから上昇しました。一方、欧州では、ECB（欧州中央銀行）による金融引き締めが継続するなか、経済の地合いの弱さなどから利上げ打ち止め観測が強まった結果、ドイツ国債利回りは中長期ゾーンを中心に低下しました。

海外社債市場では、欧米中央銀行による利上げ打ち止めへの期待や、企業業績が堅調さを維持したことなどから、社債スプレッド（国債との利回り格差）は縮小基調で推移しました。当ファンドが投資対象とする金融機関のハイブリッド証券のスプレッドについても、海外社債市場とおおむね同様の動きとなりました。

【2023年9月-2024年2月】

米国では、インフレ率の下げ渋りや堅調な米国の経済指標を背景に、FRB（米連邦準備制度理事会）が相対的に高水準な政策金利を維持したことなどから、米国債利回りは5年国債を境目として短期ゾーンでは低下しましたが、中長期ゾーンでは上昇しました。

一方、欧州においては、ECBによる利上げ打ち止め後の経済の地合いの弱さなどから、ドイツ国債利回りは小幅に低下しました。

海外社債市場では、欧米中央銀行による金融緩和への期待の高まりや、企業業績が堅調さを維持したことなどから、社債スプレッドは縮小基調で推移しました。当ファンドが投資対象とする金融機関のハイブリッド証券のスプレッドについても、海外社債市場とおおむね同様の動きとなりました。

以上のような経過を経て、期を通じては、米国債利回りは長期債を中心に上昇した一方、ドイツ国債利回りは低下しました。また、金融機関のハイブリッド証券のスプレッドは縮小しました。

【ポートフォリオについて】

ハイブリッド証券等の組入比率は、期を通じて高位を維持しました。

当期、欧米の景気動向や欧米中央銀行の金融政策に対する姿勢などが相場の変動要因となるなか、発行体の財務状況を改めて精査し、市場流動性などを勘案して運用を行いました。

以上の運用の結果、スプレッドの縮小などにより、1口当たり純資産価格（分配金再投資）は、米ドル建米ドルヘッジクラスは7.9%程度の上昇、豪ドル建豪ドルヘッジクラスは6.6%程度の上昇となりました。

【分配金について】

当期(2023年3月1日～2024年2月29日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル建 米ドルヘッジクラス

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格 ^(注1)	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2023年3月6日	0.006752	0.000040 (0.59%)	-0.000160
2023年4月5日	0.006712	0.000040 (0.59%)	0.000000
2023年5月10日	0.006673	0.000040 (0.60%)	0.000001
2023年6月5日	0.006650	0.000040 (0.60%)	0.000017
2023年7月5日	0.006610	0.000040 (0.60%)	0.000000
2023年8月7日	0.006652	0.000040 (0.60%)	0.000082
2023年9月5日	0.006596	0.000040 (0.60%)	-0.000016
2023年10月5日	0.006502	0.000040 (0.61%)	-0.000054
2023年11月6日	0.006550	0.000040 (0.61%)	0.000088
2023年12月5日	0.006731	0.000040 (0.59%)	0.000221
2024年1月5日	0.006792	0.000040 (0.59%)	0.000101
2024年2月5日	0.006820	0.000040 (0.58%)	0.000068

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2023年3月6日の直前の分配落日(2023年2月6日)における1口当たり純資産価格は、0.006952米ドルでした。

豪ドル建 豪ドルヘッジクラス

(金額：豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2023年3月6日	0.005749	0.000030 (0.52%)	-0.000151
2023年4月5日	0.005720	0.000030 (0.52%)	0.000001
2023年5月10日	0.005682	0.000030 (0.53%)	-0.000008
2023年6月5日	0.005659	0.000030 (0.53%)	0.000007
2023年7月5日	0.005625	0.000030 (0.53%)	-0.000004
2023年8月7日	0.005666	0.000030 (0.53%)	0.000071
2023年9月5日	0.005612	0.000030 (0.53%)	-0.000024
2023年10月5日	0.005527	0.000030 (0.54%)	-0.000055
2023年11月6日	0.005563	0.000030 (0.54%)	0.000066
2023年12月5日	0.005723	0.000030 (0.52%)	0.000190
2024年1月5日	0.005769	0.000030 (0.52%)	0.000076
2024年2月5日	0.005788	0.000030 (0.52%)	0.000049

(注) 2023年3月6日の直前の分配落日(2023年2月6日)における1口当たり純資産価格は、0.005930豪ドルでした。

《今後の運用方針》

米国ではこれまでの金融引き締めの効果もあり、インフレや雇用などの経済指標の鈍化傾向が予想されるなか、2024年後半には複数回の利下げが行われる可能性もあることなどから、当面、緩やかな景気減速が続く可能性は高いと考えています。

欧州では、サービス業が牽引役となり、緩やかな景況改善が続くなか、ECBはインフレ動向を確認しながら、利下げのタイミングやペースを慎重に判断していくと考えています。

今後も米国や欧州のインフレ動向や金融政策には注意する必要があるものの、これまでの金利上昇を背景に金融機関の収益性が改善する可能性があることなどが市場のサポート要因になると考えます。

このような市場環境下、財務状況が健全と考える米国、英国、ユーロ圏、北欧などの金融機関を中心に引き続き財務状況を精査し、ハイブリッド証券等の組入比率について現在の水準を維持する方針です。

《お知らせ》

2024年8月13日付で、ファンドの受託会社であるファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドは、その商号をCIBC カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドに変更しました。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型オープンエンド型外国投資信託
信託期間	ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2026年9月10日（当該日が営業日でない場合、前営業日）、または管理会社がその絶対的裁量により随時定めるそれ以降の日に終了します。ただし、有価証券報告書に定めるいずれかの方法により当該日までに終了する場合を除きます。
運用方針	ファンドの目的は、主として世界の金融機関が発行するハイブリッド証券（「資本」と「負債」の性格を併せ持った証券で、劣後債（期限付劣後債、永久劣後債）、優先出資証券等があります。）等への投資を通じて、安定したインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることです。
主要投資対象	ファンドが投資対象とするハイブリッド証券等は、取得時において、ムーディーズ社からBaa3以上、S&P社もしくはフィッチ社からBBBー以上、またはその他の格付機関からこれらに相当する長期格付けを付与されたものとします。
ファンドの運用方法	発行体の信用リスクを低減するため、特定の発行体に対する集中投資は行わず、分散投資を行う予定です。

（次頁へ続きます。）

主な投資制限	ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。 (イ) ファンドは、空売りされる有価証券の時価総額が、ファンドの純資産総額を超えることとなるような空売りを行わないものとします。 (ロ) ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行わないものとします。ただし、合併等の特別の事由により一時的に（いかなる場合も12か月間を超えることはできません。）、10%を超える場合はこの限りではありません。 (ハ) ファンドおよび管理会社の運用するミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。 (注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。 (ニ) ファンドは、私募株式、非上場株式、不動産、証券化関連商品等、流動性に欠ける資産の取得の結果、当該資産がファンドの純資産総額の15%を超える場合、投資を行いません。ただし、投資対象の評価方法が開示書面において明確に開示され、価格の透明性を確保する適切な方法がとられている場合、ファンドはこの制限を受けません。 (ホ) 投資対象の購入、投資および追加の結果、ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法において規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、投資対象の購入、投資および追加を行いません。 (ヘ) 管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社またはファンド以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の利益を害し、またはファンドの資産の適正な運用を害するファンドのための管理会社、投資顧問会社または副投資顧問会社の取引は、すべて禁止されます。 (ト) ファンドは、他の投資信託に対する投資を行う投資信託（いわゆるファンド・オブ・ファンズ）への投資、または（直接的もしくは間接的に）ファンドとの間で相互および循環保有となる投資信託への投資を行いません。これらの場合以外における他の投資信託への投資は、ファンドの純資産総額の5%を超えないものとします。この制限は、上場投資信託（ETF）に対する投資には適用されません。 (チ) 管理会社、投資顧問会社および副投資顧問会社はファンドのために自身またはその取締役との間で取引を行ってはなりません。 (リ) 日本証券業協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とします。 ファンドの投資対象の価値の変化、再構成、合併、ファンドの資産からの支払またはファンドの受益証券の買戻しの結果としてファンドに適用される制限を超えた場合、管理会社は、直ちにファンドの投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、ファンドの受益者の利益を考慮した上で、違反が判明してから合理的な期間内にファンドに適用ある制限を遵守するために合理的に可能な措置を講じるものとします。
分配方針	管理会社は、いずれのクラスに関しても、投資顧問会社と協議の上、毎月5日（当該日が営業日でない場合は翌営業日）に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。

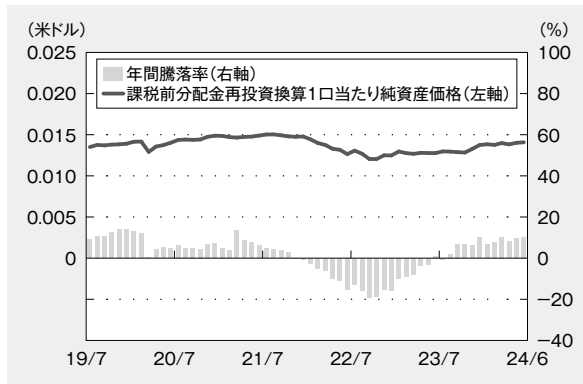
《参考情報》

【ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

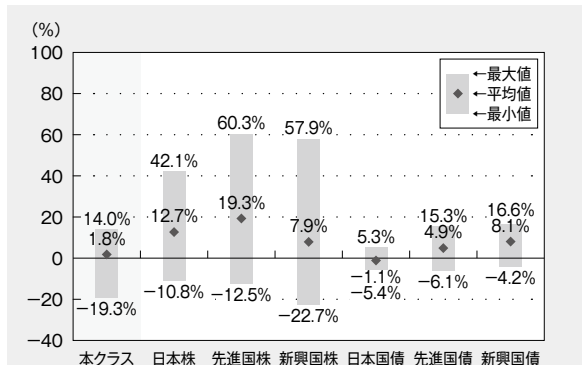
ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2019年7月～2024年6月の5年間におけるファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)と、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。

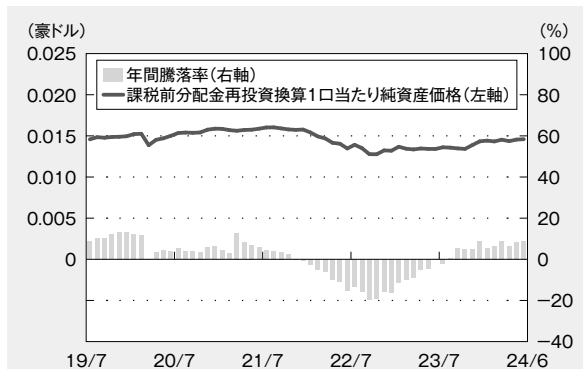
米ドル建 米ドルヘッジクラス



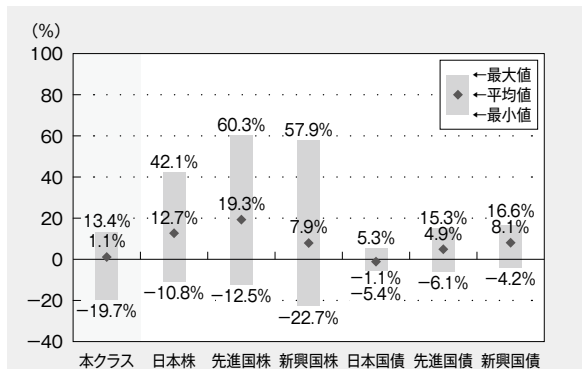
米ドル建 米ドルヘッジクラス



豪ドル建 豪ドルヘッジクラス



豪ドル建 豪ドルヘッジクラス



出所: Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。
※ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。
※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
※ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日 本 株・・・TOPIX(配当込み)
先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)
新興国株・・・S&P新興国総合指数
日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数
先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)
新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)
(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

《ファンドデータ》

【ファンドの組入資産の内容】

(第12期末現在)

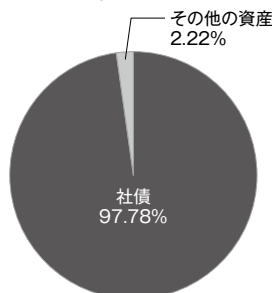
●組入上位資産

(組入銘柄数：102銘柄)

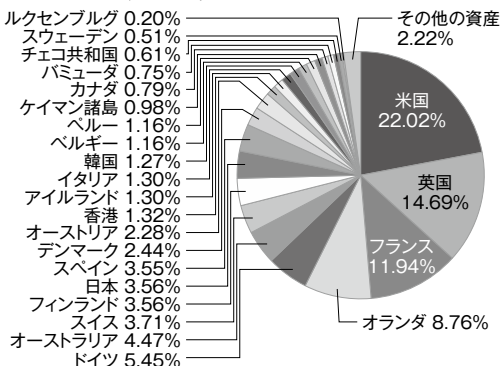
上位10銘柄	組入比率(%)
UBS GROUP AG FLT 08/12/33	3.43
FIFTH THIRD BANCORP FLT 04/25/33	2.59
GOLDMAN SACHS CAPITAL I 6.345% 02/15/34	2.43
BANK OF AMERICA CORP FLT 02/04/33	2.34
LLOYDS BANKING GROUP PLC FLT 12/15/31	2.27
DAI-ICHI LIFE INSURANCE FLT PERP	2.17
AUST & NZ BANKING GROUP FLT 05/05/31	2.06
COMMERZBANK AG FLT 10/05/33	2.05
BAWAG GROUP AG FLT 02/24/34	2.04
NATWEST GROUP PLC FLT 09/14/32	1.82

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。ただし、端数処理方法の違いにより、運用報告書(全体版)に記載されている財務書類中の比率とは異なる場合があります。以下円グラフも同様です。

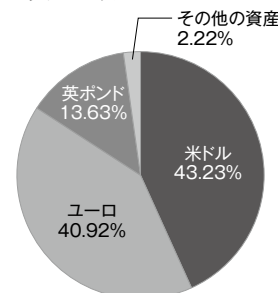
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

第12期末			
クラス名	純資産総額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジクラス	95,342,308.04米ドル	13,960,842,293口	0.006829米ドル
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	14,078,440.60豪ドル	2,431,182,324口	0.005791豪ドル

第12期			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジクラス	1,777,427,897 (1,777,427,897)	2,954,227,404 (2,954,227,404)	13,960,842,293 (13,960,842,293)
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス	192,336,350 (192,336,350)	778,450,038 (778,450,038)	2,431,182,324 (2,431,182,324)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。